

吾妻山の火山活動解説資料

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）が継続＞
昨日（7日）実施した現地調査では、大穴火口付近とその周辺で熱活動が継続していることを確認しました。
大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～3）

昨日（7日）実施した現地調査では、大穴火口付近とその周辺で熱活動が継続していることを確認しました。これまでの上空からの観測と比較してさらなる地熱域の拡大は認められませんでした。

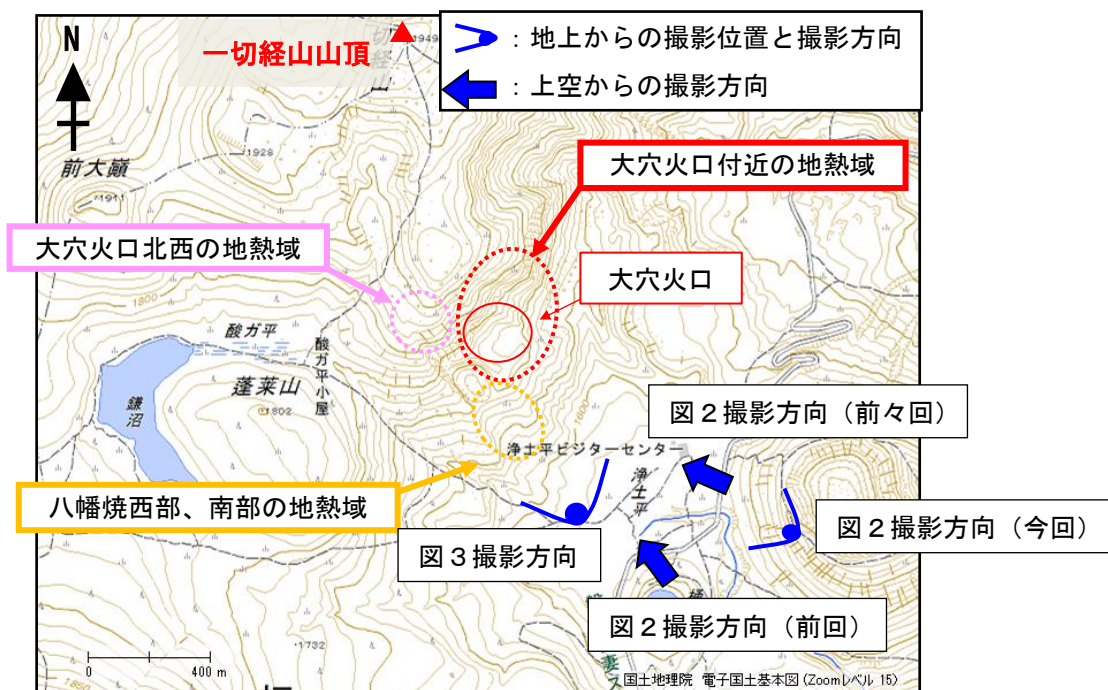


図1 吾妻山 大穴火口周辺の噴気と地熱域の分布及び写真と地表面温度分布撮影方向

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警戒等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

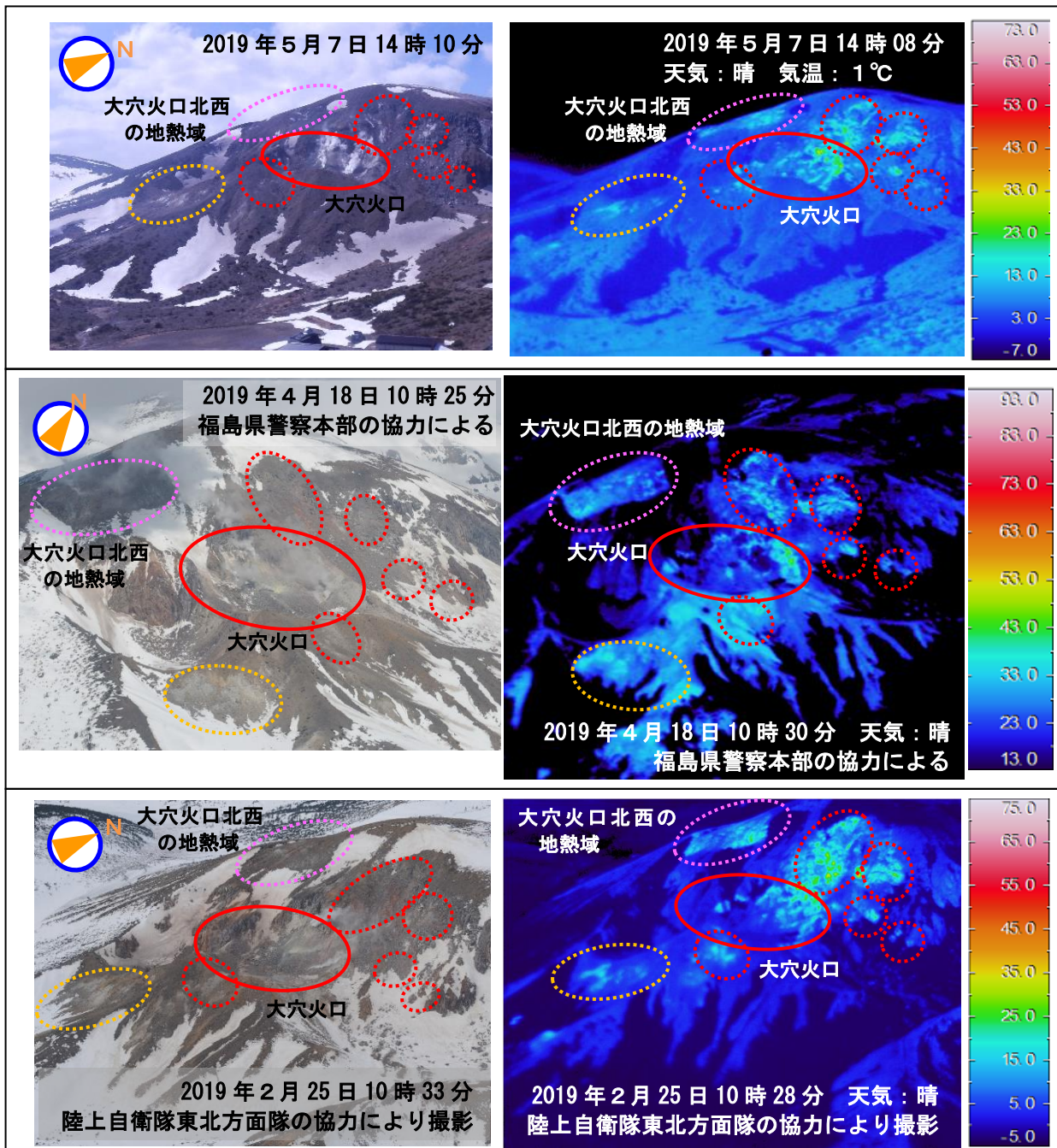


図2 吾妻山 大穴火口付近及びその周辺の状況と地表面温度分布

- ・大穴火口付近とその周辺で熱活動が継続していることを確認しました。これまでの上空からの観測と比較して、地熱域のさらなる拡大は認められませんでした。
 - ・図中の破線の色は図1の破線の色に対応します。
- ※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

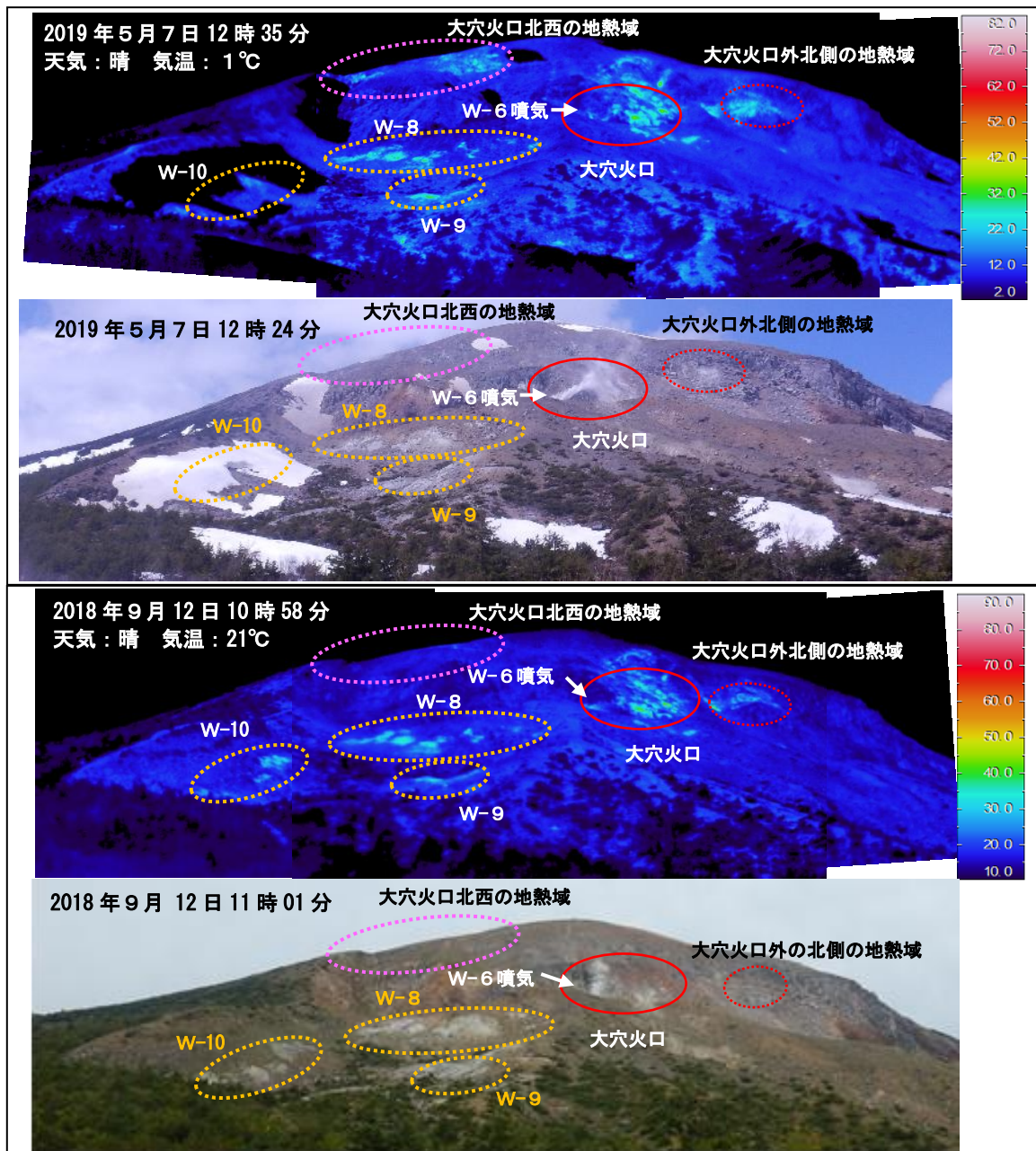


図3 吾妻山 大穴火口付近及び八幡焼の状況と地表面温度分布

- ・大穴火口付近及びその周辺（赤丸、桃破線、赤破線）では2018年10月中旬頃から拡大が認められていた地熱域が引き続き確認されました。
 - ・八幡焼西部、南部の地熱域（橙破線）では、前回（2018年9月）の現地調査と比較して特段の変化はありませんでした。
 - ・図中の破線の色は図1の破線の色に対応します。
- ※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。